

Vol.3 第3・4回勉強会を実施しました！

担当：仲野（3年目）
：佐々木（2年目）

○ セケ宿ダムの見学！（宮城A班・B班合同9月10日実施）

>9月10日に第3回勉強会として、宮城県刈田郡セケ宿町にある「セケ宿ダム」を見学してきました。最初にダムの概要について聞き、操作室を見学後、ダムの管理用の通路（**監査廊**）を見て回りました。ダム職員の業務についても詳しく話を聞き、**放流時の巡回**等、ダムの管理事務所ならではの業務を知ることができました。



監査廊内イルミネーション

セケ宿ダム

～セケ宿ダムの役割～

洪水の調節、流水の正常な機能の維持、水力発電、かんがい用水・水道用水の供給など様々な役割があります。一番遠いところで松島町まで水を供給しており、ダムの総貯水量は東京ドーム約90杯分にあたります。



発電に使われる水の流れを感じている様子

>監査廊を奥に進んでいくと、仮排水路にある発電用水が流れる管（**導水管**）がありました。水の流れる音が大きく、手で触れると水の流れを感じ、手と耳の両方で見えない水を体感しました。

【感想】通常は入ることのできない監査廊の深部に入るなど貴重な経験をすることができた。また、セケ宿ダムは1時間で最大3,600kWという大量の電気を発電しており、水が有効利用されていることを知った。

○ 東北国営公園事務所に伺いました！（8月26日実施）

>東北国営公園事務所では、公園事務所の事業概要や事務系職員の業務についての講話のほか、国営みちのく杜の湖畔公園の見学をさせていただきました。

○東北国営公園事務所の事業について

事務所設置当初は、現在の**国営みちのく杜の湖畔公園**の整備を行う事務所でしたが、東日本大震災後は、地方公共団体が整備する復興祈念公園内の中核となる「**国営追悼・祈念施設**」の整備・管理運営も行っています。東北国営公園事務所が管理しているのは、岩手県の高田松原津波復興祈念公園、宮城県の石巻南浜津波復興祈念公園、整備中の福島県復興祈念公園の3ヶ所の施設です。



みちのく公園



講話の様子

～国営追悼・祈念施設について～
東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国は地方公共団体との連携の下、それぞれの公園の基本理念にそった施設（**広場、震災遺構**等）を整備しています。



震災遺構：奇跡の一本松
(高田松原津波復興祈念公園)

【感想】

・公園事務所のような、職員が少数の事務所では、担当の業務が多岐にわたるため、さまざまな経験や他課との交流が大事だと感じた。
・現在、国営みちのく杜の湖畔公園では、ふるさと村にある古民家の茅葺き屋根の葺き替え工事を行っており、整備局内では現在、他で行われておらず、普段見る機会のない「葺き替え工事」を見ることができ貴重な時間だった。

「One For All, All For One!」は、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所及び宮城南部復興事務所に所属している1～4年目の事務系若手職員が作成しています。

▶ ホームページ <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/oyakudachi/student/index.html>